

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表：2023年9月26日

事業所名 growのおと 上本町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・職員が目がいき届く定員数設定にしている。 ・十分なスペースがあり適切。	・現状を維持できるよう努めます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・基準(法)に乗っけている。 ・基本人員以上で配置。 ・AMIは1:1対応ができる人数で配置している。	・今後も、現状のサービス維持に努めたいと考えます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・一室で完結しているため、分かりやすい空間である。また、プログラム等を行う際には視感から遮断するための工夫を行っている。 ・静のスペースを用意してある。 ・スタッフ間で話し合い、都度改善を意識している。	・バリアフリーにはなっていないため、今後の利用児によってはバリアフリー化も検討が必要かもしれない。 ・現状も配慮の上環境設定を行っているが、以後も利用児の発達特性等に併い、まだまだ検討の余地がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、適宜清掃を行い、汚れと共に破損等がないかも確認している。 ・静と動で活動のスペースを分けている。	・今後も継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・目標設定を全職員が共有し、意見を出しあっている。 ・日々の夕礼や定期的なミーティング時に改善点を提案し、職員間で認識を統一している。	・今後一層取り組みを深めていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	・保護者の意向を業務に生かしている。(送迎等)	・評価表に関しては今回が初回のため、今回の評価を今後のサービス向上につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		・今回が初回のため、この結果をHPにて公開する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現状行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月に1度の理学療法士による研修等や、外部研修の情報も適宜いただくことができている。	・今後、一層の充実を図っていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	○		・利用開始前に面談にてアセスメントを行い、それらに基づいて作成している。	・以後も継続していく。
	11	○		・アセスメントシートを利用。	・アセスメントシートの形式(内容)については今後も適宜検討し、見直しを図っていく。
	12	○		・ガイドラインに基づいて作成している。	・以後も継続。
	13	○		・個別支援計画を共有し、沿った支援を心がけている。	・以後も継続。
	14	○		・会議や日々の振り返りの中で子どもの姿に応じた内容を都度、話し合っている。	・以後も継続。
	15	○		・午後の部に関しては週ごとにテーマを設けている。	・以後も継続。
	16	○		・スタッフ一人ひとりが個々の状態に応じた対応ができるよう組み立てている。 ・定期的に小集団の遊びを行っている。	・以後も継続。
	17	○		・前日の昼礼にて皆で共有すると共に、視覚的にも掲示し共有を図っている。	・以後も継続
	18	○		・支援終了後には時間を設けられない日もあるが、1日に1度は昼礼を行っている。必要事項に関しては都度、必ず声をあげ、共有を図っている。	・支援終了後には時間を設けられない日もあるが、必要事項に関しては必ず声をあげ、共有を図っている。
	19	○		・しっかり記録をとることで、支援の振り返りを行うと共に、それらを共有することで一人ひとりに対する支援を深められるよう努めている。	・以後も継続
20	○		・引き続き適宜個々で見直しは図っている。	・以後しっかり取り組んでいく。	
関係機関や保護者との連携	21	○		・現状は主に児発管が参加している。	・以後も継続し、一層の連携を図っていく。
	22	○		・必要に応じて連携が図れるよう、関係づくりに努めている。	・以後も継続し、一層連携を図れるよう努める。
	23				
	24				
	25	○		・現状対象児なしだが、現在利用児が在園中の園とは連携を図っている。	・以後も連携を継続し、移行支援にもつなげていく。
	26		○		・まだ対象児なし。以後、取り組んでいく。
	27	○		・連携を図ることを大切に努めている。	・まだ不十分であるため、以後も努めていく。
	28		○	・土曜日のイベントにきょうだい児の参加も募っている。 ・一定の利用児に関しては、それぞれ園に所属している。	・今後保護者のニーズがあれば検討。以後も土曜日のイベントにてきょうだい児なども含めて交流を図れるよう企画を継続していく。
	29	○		・代表が参加。	・以後も参加を継続していく。
	30	○		・面談時以外にも、日々の連絡帳や送迎時のコミュニケーションを大切にしている。	・以後も継続していく。
	31		○	・ご相談には適宜お応えできるよう努めているが、ペアレントトレーニングとしては行えていない。	・今後、検討していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・見学時、契約時にご説明。	・今後も丁寧な対応を心掛けていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	・支援計画についてはしっかり説明を行い同意を得ているが、ガイドラインについては説明不足であった。	・以後説明していく必要がある。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談会を実施したり、日ごろは主に送迎時や連絡ノートにて対応している。保護者からのお話は職員間で共有し対応するよう心掛けている。	・以後も継続していく。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・土曜日のイベントで保護者同士が交流できる機会を設けている。	・今後も当所の特徴の一つとして注力していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・いつでも対応する旨、お声かけしている。また、相談があった際には迅速に対応している。	・以後も継続していく。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSやLINE等も活用し発信している。	・適宜見直ししながら、一層の充実を図れるよう引き続き取り組みを続ける。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・錠つき書庫で保管し、スタッフ一同、十二分に注意している。	・以後も継続していく。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・個々に応じた対応ができるよう努めている。	・以後も継続。一層意識を高めていきたい。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・内覧会や相談会の際には広くチラシを配り案内した。	・イベントの一環として以後もできることがあるか、検討していく。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	・マニュアルを作成し、職員間では周知している。	・保護者への周知に関しては不十分な点も残るため、以後保護者への周知を図っていく。また、訓練に関しては以後実施予定。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・避難訓練を実施。	・以後も継続していく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・利用開始前に聞き取りを行っている。	・現状、健康面において特別に配慮を要するお子さんはいないが、日ごろから情報は共有できるようにしておく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・保護者と密に連携をとり、基本完全除去の対応をしている。	・以後も継続していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・作成し共有している。	・以後も継続し、意識を持続していく。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	・研修は未実施であるが、以後実施予定で。	・以後必ず実施。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・契約時にしっかりご説明し、了承を得ているが、現在拘束を行った事例はない。	・以後もしっかり取り組んでいく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。